新品種・新技術の確立
支援　取組概要
（R1 ～ R2 ）

『　高品質な「シャインマスカット」の安定生産技術の確立、普及　』

＝福岡県＝

【全体概要】

近年、消費者から高い評価を受けている「シャインマスカット」について、低品質のものが市場で出回る事例が増えており、産地ごとの評価差が広がっている。そこで、高品質な「シャインマスカット」の安定生産技術を確立し、その技術を普及することで本県産の市場評価を高め、ブドウ農家の収益向上、ひいては産地規模の維持・拡大を図る。

新品種・新技術等の概要

「シャインマスカット」

○開発者　農研機構

○開発年（育種完了年）
平成18年に品種登録。

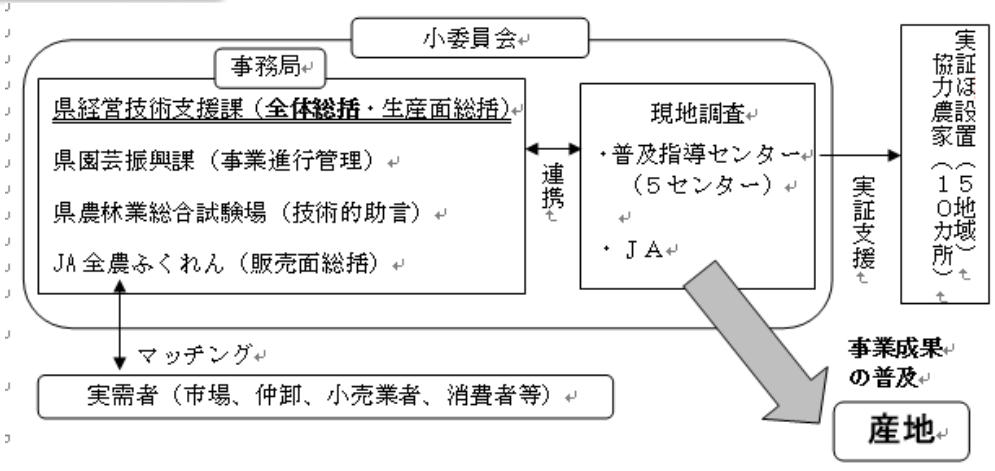
○2倍体の黄緑色の欧州系品種

○果肉は崩壊性でマスカット香があり、糖度は20度前後となり、食味が優れる。

○ジベレリン処理による無核化が可能で、果皮ごと食べられる。

○本県での普及状況
栽培面積22haで、今後も拡大見込み。

実施体制図



主な取組内容

【実証展示ほ設置（7月）、現地検討会（8月）】
・実証ほの設計（3普及指導センター10ほ場、7～9月）
・関係者による実証ほの現地調査。

【成績検討会（9月）、成績報告会（10月）】
・実証結果を関係者で検証し、検証結果を生産者代表に報告。

【先進地調査（10、12月）】
・主産県である長野県、岡山県における生産状況や販売の動向を調査。

【栽培マニュアル案の作成（1月、3月）】
・実証結果や先進地調査結果等を基に、マニュアル案を策定。

課題と今後の対応

【栽培技術の確立】
・実証試験の継続及び結果の検証。
・主産県における先進的な生産技術の情報収集。
・市場との意見交換（試食）を通じた商品性の検証。

【栽培技術の普及】
・実証結果や先進地調査、市場ニーズに基づいた栽培マニュアルの作成、配布。